

特集

派遣スタッフからの「相談・苦情」対応で分かれた

有期雇用

無期雇用

の満足差

雇用形態別で見た派遣スタッフの意外な温度差とは？

- ✓ **Check Point ①**
無期雇用の認知度は上がっているのか？ [20ページ](#)
- ✓ **Check Point ②**
権利を獲得したら「無期雇用」に転換したい派遣スタッフの割合 [21ページ](#)
- ✓ **Check Point ③**
無期転換した派遣スタッフの有期から無期になった後の感想とは？ [22ページ](#)
- ✓ **Check Point ④**
「相談・苦情に対する担当者の理解度」に対する有期・無期の温度差 [23ページ](#)
- ✓ **Check Point ⑤**
「相談・苦情に対する担当者の迅速さ」に対する有期・無期の温度差 [24ページ](#)
- ✓ **Check Point ⑥**
「相談・苦情に対する担当者の誠実性」に対する有期・無期の温度差 [25ページ](#)

派遣スタッフの有期と無期の「雇用形態の違い」における満足度については、本誌が年2回実施している「派遣スタッフ満足度調査」においても大きな違いは見られなかった。ただ、大分類においては大きな差は見られないものの小分類で細かくデータを見ていくと「このあたりの対応に関しては、無期よりも有期のほうに手厚さがある」、あるいは「この項目では有期よりも無期に対する身内意識がより強うかがえる」といった、それぞれの雇用形態ならではの「らしさ」が感じられる項目もある。本誌では今後、アフターコロナ、あるいはウィズコロナとも形容される時代にあって、「派遣という働き方」に対する派遣スタッフの意識変化などに着目した調査も予定している。特に無期雇用の派遣スタッフに与えた「コロナ危機による待機リスクの高まり」による影響の有無、さらに影響があった場合における派遣スタッフの意識変化などから、その派遣会社側の有期・無期対応の意外な盲点を探し出そうというのが本特集の狙いである。業界専門誌でもなければおそらくスルーされると思われる論点に、あえて今回は挑んでみたい。

(リポート 伊藤秀範)